



2020-21 年度地区方針「行動するロータリアン！世界で何かよいことをしよう、TOGETHER！」

本 日 第2392回 2021年2月12日(金) No. 2274

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者: 菊田 利昭君

点 鐘 12:30

卓 話 者: ”

静 聴 「君が代」・「奉仕の理想」 演 題: 「相続法改正について」

前 回 第2391回 2021年1月22日(金) 記 録

○出席者: 会員 23 名中 17 名出席 出席率 73.91%
○ゲスト: 2018 年度米山記念奨学生 宋 承桓君
2019 年度米山記念奨学生
オトゴンバートル・ドルジンスレンさん

会長あいさつ 舟橋 龍秀



まず、冒頭に皆様にお詫びを申し上げなければなりません。1 月 8 日の理事役員会で、1 月以降の例会について、食事供与は中止して例会を開催するということが承認され、皆さんにご連絡しました。ところが翌週の 14 日に、愛知県に緊急事態宣言が発令されました。こうした事態を受け、例会開催について再度検討し、とりあえず 15 日の例会は中止という決定をいたしました。これは、まことに朝令暮改の誹りを免れないものと思ひ、会長としてお詫び申し上げます。しかし、コロナ感染の機会をできる限り低減するという思いからのものであり、どうぞご容赦いただきたいと思います。

それでは、今日はどのようにして中止にならないかということをお思ひの会員も当然いらっしゃると思います。私も開催について思い悩みましたが、創立記念例会というメモリアルな例会であり、感染防止に留意して、お食事は会場ではなく、お持ち帰りいただくことにいたしました。どうぞよろしくお願ひ

いたします。

さて、本日の創立記念例会にふさわしく 2 つの嬉しいことがあります。ひとつは、この後入会式を行います。田辺哲郎さん、森友子さんのお二人が入会されることです。昨年度は、会員がお二人ご逝去されるという悲しい出来事がありましたが、新しく 2 名が入会されるということで、我がクラブの将来に大きな希望の光が差したと思ひ、新年早々、新しい力が漲ってくるようです。この力をばねに、コロナ禍に打ち勝っていきけるのではないかと思います。昨年度から今年度まで、本日のお二人を含めて 7 名の皆さんが新しい仲間となりました。これは当クラブにとって新しい大きな潮流です。私の年度もあと半年となりましたが、この流れが、次年度以降も続くよう、皆さまのご協力をお願いする次第です。

さて、もうひとつは、本日のゲストである米山記念奨学生の宗承桓（ソンスンファン）君が、名古屋大学から博士号を授与されたことです。ソンスン君の研究については、クラブの卓話でお聞きしました。なかなか難しく十分理解することはできませんでしたが、彼がとても優秀な研究者であることは、その話しぶりからよく分かりました。今後、ますます精進されて、世界にその名を知らしめるような活躍をされるよう頑張ってください。また、仄聞するところ、ご結婚をされる由、併せてお幸せな生活を送られることを祈念しております。本日のゲストのドーギーさん、こうした優秀な先輩

職業奉仕月間

例 会 予 定	2月19日(金)	2月26日(金)	3月5日(金)	3月12日(金)
	休会 定款により休会	休会 定款により休会	卓話担当者: 中森 正裕君 卓話者: ” 演題: 「ロボットについて」	休会 定款により休会

の後に続いて頑張っていたきたいと思います。
本日のお話はこれで終了にいたします。ありがとうございました。

幹事報告

- ・1/9(土)第3次2021年度米山奨学生選考会
於名古屋国際センター 山田地区米山記念
奨学委員長 出席
 - ・知多ロータリークラブが2020年12月4日をも
ちまして終結いたしましたのでお知らせします。
- 次回の例会：2月12日(金)※1/29(金)・2/5(金)休会

ニコボックス

- 森さん、田辺さんの入会を御祝い致します。
舟橋 龍秀君、松永 洋子さん、飯田 幸雄君
加藤 清久君、金森 俊輔君、熊澤 功君
桜井 雅博君、谷口 亜弥さん、中森 正裕君
西尾 輝久君、古橋 裕志君、箕輪 良孝君
山田 直樹君
- 宋さん、学位取得おめでとう。
舟橋 龍秀君、山田 直樹君
- 飯田先生の卓話を楽しみにしております。
舟橋 龍秀君、加藤 清久君、金森 俊輔君
- 本日卓話の機会を与えられました。飯田 幸雄君
- コロナ禍に負けず頑張っています。田辺 哲郎君
- 新年例会を欠席しました。箕輪 良孝君
- 本日、申し訳ありませんが13時20分に退出しま
す。金森 俊輔君

宋さん学位取得御祝い



博士号取得を御祝いして

2018年度米山記念奨学生
宋 承桓君(右)

新会員入会式



田辺 哲郎君(左)
職業分類：情報処理

森 友子さん(右)
職業分類：税理士

卓話



「尾張旭ロータリークラブ
創立50周年記念日を迎
えて」 飯田 幸雄

本日、例会日が奇しくも
当クラブの創立50周年記
念日にあたり、大変変意義

深い日に、卓話者としてご指名を頂き、卓話の機
会を与えていただきましたことは、大変名誉なこ
とであり、感謝しております。

先ず、尾張旭ロータリークラブの創立の経緯に
ついての話を主題として本日の卓話を進めて行き

たいと思います。そして、残りの時間の許す限
り、会員の皆様にロータリーについての理解を少
しでも深めていただくのに、お役に立つようなお
話が出来ればと思っております。

振り返ってみますと、1970年(昭和45年)12
月1日を期して東春日井郡旭町が尾張旭市になる
ことが決定した頃から、創立1959年(昭和34
年)創立の瀬戸ロータリークラブでは、クラブ創
立10周年の記念事業として、尾張旭市に新クラブ
を創立しようという機運が高まってきました。そこ
で、瀬戸ロータリークラブ(加藤勲会長、山内孝
幹事)がスポンサーとなり、二宮恵一先生を特別
代表に、加藤政良さんをガバナーズエイドに任命
し、尾張旭ロータリークラブ創立に向けての動き
がスタートしました。

そして、瀬戸ロータリークラブから移籍決定の6
名がキーメンバーとなり、旭町より新しくメンバ
ーとなることを承諾された18名が加わり24名
が、スポンサークラブ、特別代表、ガバナーズエ
イドからの指導を受け、また協議を重ねながら、
新クラブ設立に向けての準備がなされました、
そして、1971年(昭和46年)1月22日に創立総
会が瀬戸商工会議所にて開催され、初代会長に鈴
木栄一さんを選出し、仮クラブとして会員数24名
で発足、1971年2月11日に国際ロータリー

(RI)に加盟が承認され、仮クラブが本クラブに
なりました。

引き続いて、私は3月3日に入会させていただ
きました。まもなく在籍50年になります。同日に
入会されたのが、奥谷博俊パストガバナー、出分
龍三さん、加藤勇夫さんでした。少し遅れて3月
8日に壺井耕輔先生が入会されております。

その後、会員増強により、会員総数34名にな
り、6月20日にホテルナゴヤキャッスルにて、伊
藤次郎左エ門ガバナーはじめ特別出席者およびご
来賓各位ほか約830名の参加者を得て、認証状
伝達式が盛大に挙行されました。

さて、私事を申し上げて、恐縮ですが、私は入
会以来、病欠で皆出席を失した1年間を除けば、
出席免除会員になるまで、皆出席を続けることが
出来ました。ロータリー精神といましようか、
ロータリアンとしてのものの考え方とか行動が、
私なりに、知らず知らずのうちに、私の日常生活
の中に取り込まれて定着して行ったと言っても過
言でないと思っております。

私のロータリーについての理解を深め、ロータ
リー歴を支えてきたのは、

1. 神守源一郎 著「ロータリーでいう職業奉仕」
1973年(昭和48年)12月28日発行
2. 佐藤千寿 著「新編 ようこそロータリーへ」
1990年(昭和65年)10月14日発行
その他の佐藤千寿さんの著書
3. 井坂孝パストガバナーの語録。
4. ハーバート・テラー「4つのテスト」
などです。